

market:update

~Metzler Weekly Market Update~

欧州経済の見通し

2021年2月15日

米国経済はパンデミックでも堅調の見通し

今年1月以降、米国に於ける一日当たり新型コロナウイルス新規感染者数は、住民10万人当たり約75人から、足元では約40人にまで減少したとの報告があります。これと相俟って米国では政策が一定の成果を上げていると見られ、経済全体の総合購買担当者指数は1月に58.7に上昇し、2015年以来の高水準となりました。また、米国では人口の約8%に対してワクチン接種が完了しているとの報告もあり、NFIB（全米独立企業連盟）中小企業信頼感指数に示されるように米国経済はコロナパンデミックにもかかわらず活況を呈していると考えられます。このように、米国の政策は、ロックダウン対策でパンデミックを抑制しつつ、同時に経済の力強い上昇を可能にする（ブレーキとアクセルの）最適な組み合わせを見つけることが出来たと思われまます。従って、最近の為替市場で米ドルが追い風を受けていることは驚くに値しないと思われまます。一方、2020年の第4四半期にも米国で景気後退が見られなかったことや、実態経済のモメンタムが顕著に加速していることから、インフレリスクの上昇が示唆されていると見られまます。

欧州経済は大底か

ユーロ圏では、多くの国で非常に厳しいロックダウンが実施されているにもかかわらず、1日の新規感染者数はここ数週間ほぼ横ばいで推移しており、人口10万人当たり約20人と発表されています。このような背景から、今後数週間の間に状況が改善に向かう可能性は殆ど無いと思われ、経済状況が直ちに改善する見通しは立てづらいつと思われまます。今年1月には経済全体の総合購買担当者指数が47.8に留まるなど、既に悪化が顕著になっていたと考えられ、そのような中、鉱工業生産指数が、小さいながら足元でまだ明るさを保っている領域と見られまます。米国は政策の奏功と堅調な経済の結果、欧州よりも今後倒産する企業ははるかに少ないとの見通しがあります。一方のユーロ圏経済の成長力には、中期的に支払い能力のある多くの企業が、一時的なコロナショックによって長期的な成長を阻害される懸念があると見ていまます。

英国はこれまでのところ、ヨーロッパの他の地域よりもパンデミックの被害を受けており、目下3回目のロックダウンに入っています。こうした状況が、2020年第4四半期の経済成長率に重く押し掛かっている可能性が高いと見られ、英国経済は、2020年を通じてユーロ圏経済よりも顕著に悪いパフォーマンスを示したと思われまます。一方、英国ではワクチンの接種率が非常に高いので、ロックダウンの解除とその後に続く力強い景気上昇が近い将来にも期待出来ると考えていまます。

現在、ブレグジットに関してネガティブなメディア報道が多く見られますが、経済指標はこうした印象とは異なる様相を見せていまます。1月の産業購買担当者指数は、54.1と、50を大幅に上回っており、英国の産業界は高いペースで拡大を続けていると見られまます。英国企業にとってブレグジットは対処可能なものと思われまます。

中国は経済政策を転換

目下、中国経済は良好に推移しており、これは小売売上高と鉱工業生産の指標に端的に表れてくると見ていまます。実際、中国経済は、2020年第2四半期以降、政府の包括的な財政・金融支援策により一部でダイナミックな上昇が見られており、副作用として債務の増加も顕著になっていることが懸念されまます。これに対して中国政府は経済政策のトレンド転換に着手し、金融政策はやや抑制的になり、多くの財政支援策は縮小されまます。

こうした動きから、中国の景気は今後、適度な減速に向かうのか、或いは2016年のように過度に急減速するのかが不透明ですが、景気を十分に減速させなければ、中国でも今後インフレのリスクが迫ってくると考えられまます。

エドガー・ヴァルク
メツラー・アセット・マネジメント GmbH
チーフ・エコノミスト



Edgar Walli

- 本資料は、投資一任契約を踏まえた上で、メッツラーグループが提供する情報をメッツラー・アセット・マネジメント株式会社が翻訳・作成したものです。
- 本資料は、特定の年金基金及び機関投資家向けに作成したものです。
- 本資料は、当社が金融市場に関する情報提供のために作成した資料であり法令に基づく開示資料ではありません。
- 実際の投資には、有価証券の価格変動、流動性、信用、カントリー、為替変動等の諸リスクが発生し、損失が生じる場合があり、投資元本を割り込むこともあります。
- 手数料・費用等の投資家の負担は、個別の投資一任契約により異なりますので、その合計額や上限額をあらかじめ表示することはできません。
- 契約の際には事前に契約締結前交付書面等を必ずお読みください。
- 本資料に掲載された内容、意見、予測は今後予告なしに変更される場合があり、当社はその変更等に起因する損害について一切責任を負いません。
- 本資料は信頼できると判断される情報に基づき作成していますが、当社はこれら情報の正確性や信頼性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料で紹介している運用実績等は、過去の実績によるものであり、将来の運用成果の獲得を示唆あるいは保証するものではありません。
- 本資料の全部又は一部を、当社の事前承諾なしに複写、複製若しくは配布することを禁じます。
- 本資料に引用した各インデックス（指数）の商標、著作権、知的財産権その他一切の権利は、各算出元に帰属します。また、各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

メッツラー・アセット・マネジメント株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル23階

Tel : 03-3502-6610 (代表) Fax : 03-3502-6616

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第467号

加入協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会

R21-005